



きくがわ 社協だより

No.119

2015年
1月発行



ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

菊川市社協

検索

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。



新年を迎えるにあたり

菊川市社会福祉協議会 会長 鶴田 浩

市民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、それぞれの希望を抱いて新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆さまにとって明るく幸多い年でありますように心からお祈り申し上げます。

さて、本会では菊川市に暮らす皆さま誰もが安心して、いきいき暮らせるまちづくりを目指して、地域福祉の推進を重点事業と位置付けて職員一同精進しております。

この地域福祉の推進としてこれまで取り組んできたものの中に平成22年度に菊川市長に提言した「菊川市における『地域福祉推進』への提言」の7つの内の1つ、「高齢者・障がい者の孤立・孤独を防ぐ」があります。

これは日中、高齢者のみの世帯に対し、防災・防犯の観点からも地域での連絡体制の整備のため、民生委員児童委員の個別訪問に加えて、地域で身近に集える場としての『サロン(寄り合い処)』を充実するために、各地区でのボランティア活動等に行政として側面的支援をされることを提言したものになります。

本会としましてもこれまでボランティア活動の担い手の育成等、小地域福祉活動に取り組んできた結果、「サロン(寄り合い処)」が現在、5年前よりも約6倍になる35か所に増えてきています。

この「サロン(寄り合い処)」等地域参加をすることによって、ひとり暮らしの高齢者の方が、生活に張りを持つことができるだけでなく、不安や寂しさを解消する良い方法であるということが本会の実施した調査からも明らかになっています。

そのため、本会としてこれからも地域の中の「居場所づくり」に取り組んでいきたいと存じます。

今後とも私たちが住んでいるこの地域で何が課題で、何が求められているのか。そしてどのような活動を行ったらよいのか皆さまと一緒に考え、実行できるよう地域福祉の推進に努力する所存でありますので、皆さまの一層の御協力をお願いいたします。

結びに、皆さまの益々の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げまして新年の挨拶といたします。



社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会
〒439-0019 静岡県菊川市半済1865(プラザげやき内)

☎(0537)35-3724 Fax(0537)35-3202
Eメール info@kiku-syakyou.or.jp

広がる居場所づくり

●居場所とは？

ふれあいいきいきサロンとは？

現在、全国的に地域のつながりの希薄さが叫ばれ、「孤立死」等も社会問題になっています。そうした中、静岡県では高齢者や障がい者、子どもなど、年齢や障がいの有無に関わらず、地域にある身近な高齢者施設等で垣根のないサービスが受けられる「ふじのくに型サービス」を推進しています。その中で誰もが自由に集い、自由に過ごせる場所をつくる「居場所づくり」が展開されています。

また菊川市においても、老人クラブの減少等地域での居場所が減少していく中で、高齢者等の交流の場として「ふれあいいきいきサロン」の立ち上げから運営までを支援をしてきています。

今回の特集では、高齢者、子どもや子育て中の母親、障がい者等の市内の居場所の一例をご紹介します。

●サロン紹介(2地区インタビュー)

(町部地区)

町部地区では、小地域福祉活動を社会福祉協議会と一緒に取り組んでいただけ

る「地域サポーター」とともに、平成20年度から話し合いを始め、平成21年11月13日

(金)に初めて、日

吉町自治会、宮前

自治会、緑ヶ丘自

治会の高齢者の方

を対象にふれあ

いきいきサロンを

開催しました。

現在では、町部

地区コミュニティ

協議会の中に地域

福祉部会を設置していただき、その部会の

活動の中にふれあいいきいきサロンを位置

づけ、町部地区を3つに分けてサロンを実

施しています。

参加の呼びかけは、地域サポーターや民

生委員児童委員が、対象の高齢者の方の家

へ一軒一軒訪問して行っています。そして、

自治会にも回覧等活動の広報にご協力をい

ただきながら活動をすすめています。

内容については、地域サポーターがサロ

ン開催前に打合せをし、レクリエーション

や群読、歌や出前講座等を利用したり工夫

をしながらサロンを運営しています。

また、年1回12月には、堀之内幼稚園、愛

育保育園の園児と一緒にサロンを開催して

高齢者と子どもの交流を図っています。

(平川地区)

平川地区では、コミュニティ協議会の福

祉部会の活動として民生委員児童委員が主



となり、平成18年より平川地区の75歳以上の一人暮らし高齢者又は高齢者世帯の方を対象にしたふれあいいきいきサロンを開催し始めました。

参加の呼びかけは、現在は地域サポーターが対象の高齢者の方の家へ一軒一軒訪問し、ちらしを手渡ししています。

内容については、地域サポーター自ら「ひらかわ劇団」として悪徳商法などの寸劇を披露したり、講師を迎えて手品、紙芝居、健康体操等を開催し、対象者も地域サポーターも互いに楽しめることを大切にしています。

また、昼食は地域サポーターが手作りし、みんなで食べて一日ゆっくり過ごしています。



●子育てサロン紹介

(子育てサポーターあれば)

子育てサポーターがあればがサロンを開催するようになったきっかけは、7年前に菊川市教育委員会社会教育課で開催した子育てサポーター養成講座です。

受講者の中で菊川市にも子育て支援グループを作りたいと手始めにけやきの一室で

2歳6ヶ月児検診後に先輩ママとお話を
するサロンを始めました。

その後、サロンの内容の幅を広げる為
に自宅、今はシェアショップにて開催
しています。

内容としては、月1回の託児付サ
ロンを開催しています。基本はサポーターが
お子さんをお預かりし、お母さんたちが
リフレッシュ、勉強できる講座、料理教
室や親子体操など講師を迎えて開催
しています。

初めての方も参加しやすいので個人
個人で参加する方が多く、そこからお
母さん同士の間が広がっています。

主に就園前のお子さんをお持ちのお
母さんが、1回に8〜10人参加して
います。

また、マミングというグループにご
協力頂いて月1回月曜日にお母さん
たちのお話し会も開催しています。

シェアショップ
ブログやメールマガ
ジン、Facebook、
参加されたことが
ある方への直接メ
ール等で広報して
います。



●障がい者サロン等 (地域活動支援センターMネット)

地域活動
支援センタ
ーMネット

では、菊川
市からの委
託により菊
川市内の障

がいをもつた方を対象に月2回のサ
ロンを実施しています。現在は、知的障
がい、精神障がいをもつた方が利用
されています。内容としては、2回の
うち1回は調理、1回は桜や紅葉を
観に行くとといった外出やグラウン
ドゴルフなどの簡単な運動を行って
います。



市役所、施設や病院などの関係機
関、地域活動支援センターに登録さ
れている方等に広報しています。

精神保健福祉ボランティア「あした
の会」にも協力してもらいながらサ
ロンを実施しています。

(東遠地区生活支援センター)

東遠地区生活支援センターでは、
発達障害支援コーディネーターが
主となり、「ふらっと青年部」を5
年前から年6回開催しています。

ふらっと青年部は、障がいをお持ち
の当事者から「出かける機会がほ
しい」、「人付き合いが苦手だけ
ど友達がほしい」等の声から、当
事者のための集いの場として始ま
りました。

ました。

知的障がい、発達障がいをもつた
方を対象とし、1回に約5〜8名
の方が参加されています。

東遠地区生活支援センターを
利用し、案内を希望されている方
に広報しています。

内容としては、男子部ではスポ
ーツ体験、ポウリング、バーベキ
ュー、女子部ではヘアメイク、ア
ロママッサージ、ネイルケア等
を行っています。



●これから求められる居場所

これらのように、現在市内各地
では様々な場所で、様々な対象
の方への居場所が展開されて
きています。

地域のつながりの希薄さが叫ば
れる中、居場所によって日頃か
らの付き合いができて、顔の見
える関係性があることは、孤立
や孤独の防止、災害時の助け
合い等にもつながっていきます。

今後の居場所のかたちとしては、
年齢や障がいの有無に捉われず、
「誰もが自由に集い、自由に過
ごせる場所」、常設の居場所
が地域の中により多くあること
が求められています。



● ● ～病気を克服し、笑顔で人生を楽しんでいます～ ● ●

Q 現在の活動について教えてください。

私は、平成19年に「フーバ（福祉パレー）」というスポーツに出会いました。このスポーツは自分に向いているなあと感じ、それ以来、積極的に練習に参加し、普及活動も始めるようになりました。現在は、「菊川市フーバ協会」の副会長をしています。

ある日、フーバ大会の最中に大腿骨の辺りが急に痛み出し、その時は疲れかな？と思っていましたが、一週間経っても痛みがとれないので病院へ行き、診察を受けた結果、医師から“樽松さんこれは難病ですよ”と言われ驚きました。治すには手術しかないということでした。

県内では浜松医科大学に股関節専門の診療科があるということを知り、そこへMRIのデータと紹介状を持って行き、手術の予約をしました。手術を受けるまでの間は、痛み止めを飲みながらフーバにも参加しました。その後、1回目に右大腿骨手術を、2回目に左大腿骨の手術を行いました。

手術の翌日から20m位歩くように言われ、入院中頑張りました。退院後はリハビリのためプールに毎日通って水中歩行を行ったり、菊川運動公園の坂や階段を利用したり、リハビリを続けながらフーバの練習にも参加しました。

今の自分があるのもフーバの仲間や多数の人々の励ましや支えのお蔭だと感謝しています。

現在、各市町で開催されているフーバの練習には月15回ぐらい参加し、仲間の皆さんと日々頑張っています。

昨年からはトレッキングを始め、八方尾根や山形県の月山にも行きました。楽しいですよ。



としかる
樽松俊春さん(平尾)

Q 活動して楽しいことや印象に残っていることがあったら教えてください。

楽しいことは、フーバを始めるようになって仲間がたくさん増えたことです。平尾地区の「徳々サロン」にも参加したり、旅行でも知り合いが増えて嬉しいです。

Q 趣味や楽しみなことは何ですか。

趣味はたくさんありますよ。

6月から10月は県内の川へ鮎の友釣り、月2冊の単行本の読書、月1回の映画鑑賞・美術館巡り、2ヶ月に1回の演劇鑑賞・コンサート、月1～2回の旅行、秋から春はトンボ玉づくり、そして月15回以上フーバの練習に行くことです。



平成26年度 全国レクリエーション大会(福井県)にて

Q これからの目標や、やってみたいことがあったら教えてください。

今まで通りやってきたことを、このまま楽しめたいと思っています。

昨年は福島県で開催された「全国レクリエーション大会」(左下写真)にフーバの普及活動として参加してきました。今年は、長野県で9月に、来年は岐阜県で開催されるなど、日程がすでに決まっていますのでフーバ普及活動を頑張りたいと思います。

これからも自分を磨くために、焦らず、ゆっくり、楽しくやることを心がけていきたいです。

※皆さんのお近くで笑顔輝いている方がいましたら社会福祉協議会へご紹介ください。



キャラバンメイト

私たちキャラバンメイトは、県が主催する養成講座を受講し、認知症についての理解を広める活動「認知症サポーター養成講座」を実施しています。

現在、活動するメンバーは16人、主に高齢者向け施設などで勤務し、講座の開催の要請により、講師役を務めています。

私たちは、認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者「認知症サポーター」を増やし、認知症になっても安心して暮らせる菊川市を目指しています。

認知症について知りたい、認知症の人とどう接したらよいかわからないという企業や団体、グループがありましたら、ご希望に合わせた講座を開催させていただきます。

活動に興味を持たれた方、また、過去に県等で実施するキャラバンメイト養成講座を受講済の方がいらっしゃいましたら、活動にご協力をお願いします。

ぜひ、お問合わせください。

●認知症の人の杖になってください

「認知症の人は何もわからない」は間違いです。認知症かもしれないと悲しんでいるのは本人です。周囲の人が、認知症の人の気持ちを理解し、その人ができない部分を補う「杖」となれば、認知症の人は自分でやれることも増え、おだやかに暮らしていくことができます。

問合せ先 菊川市 長寿介護課 高齢者福祉係 ☎37-1254

活動状況

平成26年度認知症サポーター養成講座実施状況



小学生認知症サポーター養成講座



中高生認知症サポーター養成講座

No	月 日	対 象 者	受講人数
1	5月27日(火)	徳々サロン(東平尾)	18
2	6月11日(水)	静岡銀行菊川支店	21
3	6月18日(水)	静岡銀行菊川支店	17
4	8月20日(水)	六郷地区コミュニティ協議会 ひばりの会	20
5	8月22日(金)	中高生ボランティア	10
6	8月26日(火)	小学生ボランティア	26
7	11月 6日(木)	一般市民	39
	合計		151



ご寄付ありがとうございました(11月~12月)

心温まる浄財は、社会福祉事業に有効活用させていただきます。

- 浄財寄付 初心 様
横地地区コミュニティ協議会 様
社会福祉協力会会員 様
- タオル寄贈 明るい社会づくり運動菊川地区協議会 様
静岡県退職公務員連盟小笠支部 様
- 車椅子寄贈 マックスバリュ東海株式会社 様
- 車両寄贈 静岡福祉協議会 理事長 服部 恭年 様



3障がい者で活動するボランティア養成基礎講座～身体障がい者編～を開催しました



11月13日(木)に3障がい(身体障がい、知的障がい、精神障がい)で活動するボランティア養成基礎講座～身体障がい者編～を社会福祉法人和松会障がい者支援施設清松園の協力により開催しました。

参加者は11名で、清松園の大塚さおり園長から講義をいただき、その後、清松園利用者の皆さんと一緒に外出に同行しながら交流を行いました。

第6回西部地区連合会ふれあい交流会を開催しました

11月30日(日)に菊川市手をつなぐ育成会が中心となり企画した「ふれあい交流会」が、菊川市総合保健福祉センタープラザけやきにおいて開催されました。

参加者は、掛川市、御前崎市、袋井市、磐田市、浜松市、菊川市の80名の方にご参加いただき、3B体操、名刺交換、手作りゲーム等で交流を深めました。午後には、七福神、きくのんが来てくれ、充実した1日となりました。



菊川市老人クラブ連合会「健康ウォーキング」を開催しました



12月9日(火)に菊川市老人クラブ連合会主催による、御前崎遠州灘県立自然公園「国指定史跡 横地城健康ウォーキング」が、開催されました。

参加者40名程が、道沿いの自然にふれながら、森林浴を楽しみました。

また、会員がガイド役となって横地城の歴史や史跡を学びました。



ボランティアの広場

ボランティアの輪・和・話(三つの“わ”)



「菊川文庫 朗読の会」

菊川文庫朗読の会は視覚障がいの方に毎月1回録音したテープを送っています。日々の出来事を綴った新聞記事や昔話など、楽しめる中身にしようと当番で工夫しています。また菊川市が発行している文芸誌「文苑きくがわ」も録音して一緒に送っています。それと個人の録音依頼・対面朗読にも応じています。

毎月の例会ではストレッチで体をほぐし、発声練習をし、音訳のテキストを読んでいます。大きな声を出す

すのはストレス発散に良いし、朗読は健康・老化予防にも効果的です。

会員募集中です。のんびり楽しみたい方は是非一回見に来てください。

例会 毎月第3木曜日(8月は休み) 10:00~11:30

会場 菊川図書館2階

問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385

ボランティアグループ情報

「25周年おめでとうございます」

12月13日(土)、菊川おもちゃ図書館あそぼ開設25周年クリスマス会が、プラザけやきで開催されました。

ハンドベル演奏、コンソメWパンチのコンサート、サンタクロースからのプレゼントなど、みんなで歌って踊って笑った楽しい1時間半でした。

「菊川おもちゃ図書館あそぼ」は、平成元年12月に開設されて以来、障がいの有無に関わらず、子ども達があそびを通して知り合う場、安心して過ごせる場を提供してくださっています。

開設25周年おめでとうございます。今後ますますのご活躍をご祈念いたします。



ご加入ください「平成27年度ボランティア活動保険」

ボランティア活動中の様々な事故によるケガや賠償責任を補償します。

加入対象者 ボランティア個人又はボランティアグループ、団体(NPO法人他)

対象となるボランティア活動

自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動

※有償の活動、学校管理下の活動、自助団体(自治会、PTA、老人クラブなど)の運営・親睦のための活動、海難救助、山焼き等の活動は対象外です。

補償の対象 ボランティア活動中に負った不慮の事故によるケガ

ボランティア活動中の偶然な事故による対人・対物の賠償責任

保険料 基本タイプ：A300円、B450円

天災タイプ：A430円、B650円

補償期間 平成27年4月1日以降、加入日翌日から平成28年3月31日まで

※平成27年度の加入受付は、1月20日から始まります。

4月1日から安心して活動ができるように、お早目の加入をお願いいたします。

※ボランティア行事用保険もありますのでご加入ください。

申込・問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385

ご来場ください 平成26年度 菊川市社会福祉大会 **ご案内**

日時 平成27年2月11日(水・祝) 13:00~15:45(受付開始12:30)
会場 菊川文化会館アエル 小ホール
式典 ①福祉の向上に貢献された方および団体の表彰
 ②大会宣言
講演 衛藤 信之氏(テレビ静岡 テレビ寺子屋公開録画)
 テーマ①落ち込みグセから脱出する心理テクニック
 テーマ②人生が180度変わる幸せ発見法
 ※参加自由(事前申し込み不要)です。
 手話通訳者および要約筆記者がつきます。
問合せ先 菊川市社会福祉協議会 ☎35-3724

講師プロフィール

子どもの頃から家庭環境に恵まれず、義理の母の自殺の第一発見者になって以来、真の人間の関係性を知りたいと願い、心理学、哲学、行動科学を学ぶ。

そして、そのような悲しみはトラウマとなるという考え方を良しとせず、その生い立ちを生きるエネルギーに変えている。

さらに、アリゾナのネイティブ・アメリカンと保留地で一年間生活を共にする経験を持ち、その地で、人の生き方の原点を学び、各地の学校では、インディアン・カウンセラーとして、地球と人間との共生を教え、子ども達に大人気の先生である。

講演実績もあり、著書も数多くある。



市民セミナー **ご案内**

平成27年度より生活困窮者自立支援法が施行されます。

生活困窮者の自立支援が制度化されるにあたり、この法律を理解し生活困窮者の実態を知ること、これから市民として私たちに何ができるのか、共に考えていきましょう。

日時 平成27年2月7日(土) 13:30~15:00
会場 プラザけやき 201会議室
内容 講演「生活困窮者自立支援法の理解と生活困窮者の実態」
 講師 津富 宏氏(静岡県立大学国際関係学部国際関係学科 教授)
対象 一般市民、民生委員児童委員、心配ごと相談員 等
申込み先 菊川市社会福祉協議会 ☎35-3724 FAX35-3202

相談窓口

福祉総合相談

日時 月~金曜日 8:15~17:00

心配ごと相談

日時 2月 2日(月) 9:00~12:00

2月 16日(月) 13:00~16:00

会場 プラザけやき

日時 2月 5日(木) 13:00~16:00

2月 20日(金) 9:00~12:00

会場 菊川市役所 小笠支所

結婚相談

日時 2月 6日(金) 18:00~21:00(受付20:00まで)

2月 15日(日) 9:00~12:00(受付11:00まで)

会場 プラザけやき

※初めての方は写真と印鑑をご持参ください。

ひきこもり、不登校無料相談

日時 2月 2日(月)・16日(月) 13:00~16:00

会場 菊川児童館(プラザけやき2階)

予約電話 090-1476-3233